

2024年度 入学試験解答用紙〔社会〕(35分)

第2回 2月2日実施 吉祥女子中学校

【問3別解】「儒学」

1
問1, 13
各1点×2
問2~12,
14
各2点×12

問1	問2	問3		問4
ア	エ	儒	教	カ
問5	問6	問7		
イ	イ	寺	子	屋
問8	問9	問10		
ア	エ	勝海舟		
問11				
ウ				
問12				
義務教育の就学率が上昇し、文字を読める ----- 人が増えたから。				
問13	問14			
ウ	エ			

【解答例】

26

【問1別解】「秋芳洞」

2
問7, 13
各1点×2
問3
それぞれ
1点×2
問1, 2,
4~6,
8~12,
14
各2点×11

問1		問2	
秋吉台		石狩川	
問3		問4	問5
ア	カ	イ	オ
問6	問7	問8	問9
オ	ウ	エ	ウ

問10	問11	問12	問13
エ	ウ	ア	イ
問14			
インバウンド			

26

3
問8, 9
各1点×2
問1~7,
10
各2点×8

問1	問2		問3
ウ	参議院の 緊急集会		イ
問4			
健	康	保	険
証			
問5			
原発を増やしたくない人が過半数なのに、 ----- 増やすべきと考えるAさんが選ばれます。			
問6	問7	問8	問9
ア	エ	ウ	ア
問10			
イ			

【解答例】

18

受験番号	氏名	得点
	模範解答	70

〔記述式解答の採点について〕

第2回

1 問12

【模範解答例】

義務教育の就学率が上昇し、文字を読める人が増えたから。(2点)

【採点のポイント】

- ①問題で示されたグラフから、義務教育(小学校)就学率の上昇に触れている。(1点)
②問題で示された表から、文章を読める力を獲得したという点に触れている。(1点)
⇒明治30年代(1897～1906年)に、「読み聞かせによる読書」が姿を消した理由を問う問題です。リード文の下線部⑫の前を読んで、「読み聞かせによる読書」とは、文字を読める人が読めない人に読み聞かせることだと分かっていることが大前提です。そのうえで、「グラフの推移」と「表の内容」をもとに考察することを求めています。
⇒問題文では、自由民権運動のころ(1873～90年)には、読み聞かせによる読書が盛んだったことが記されています。一方、グラフを見ると、その時期には、義務教育就学率が男女の平均で50%をこえるほどになり、その後も上昇していることが読み取れます。明治30年代には、社会のなかで小学校卒業者の割合が増加していたと考察できます。
⇒さらに、義務教育を受けることが、読み聞かせてもらわずとも、自ら読書できることにつながる理由を、表の内容をもとに考察することを求めています。この表は、義務教育学校である尋常小学校の教科別時間数を示したものです。この表を見ると、「読書・作文・習字」という読み書きを身につける時間に多くの時間が割かれていることがわかります。これによって、自分で読書する力が養われたと推測できます。

【部分点を与えた解答例】

多くの人が小学校に通うようになり、学校で勉強するようになったから。(1点)

- ⇒前半の「多くの人が小学校に通うようになり」で、ポイント①にふれられていますので、1点を加点しました。しかし、ポイント②については、単に「勉強」と記すだけでは不十分です。学校で読書能力につながる内容を勉強したことによふれる必要があります。なお、表の「読書・作文・習字」を「国語の学習」などと言い換えたものにも、ポイント②を満たしたものとして点を与えました。

【得点を与えなかった解答例】

日清・日露戦争が発生したため、読書よりも体育や修身が大事にされたから。(0点)

- ⇒ポイント①でふれるべきは、問題で与えられたグラフの推移の状況です。この答案は、設問文の明治30年代という時期から、そのころの戦争を想起したと考えられますが、これはグラフから読み取れることではありません。表の内容にはふれていますが、「読書・作文・習字」の時間の方が、「修身」・「体育」の合計時間数の2倍以上なので、この答案のような読み取りは誤りです。よって、問題の要求にこたえていないので、得点を与えませんでした。

〔記述式解答の採点について〕

第2回

2 問5

【模範解答例】

原発を増やしたくない人が過半数なのに、増やすべきと考えるAさんが選ばれます。

- 多数決が必ずしも民意を反映していないと言える場合を、選挙の結果と特定の争点をもとに考え、記述する問題です。

【採点のポイント】

- ①選挙の結果はAさんが当選することについて触れている。(1点)
⇒先生が「この場合の選挙結果はどうなりますか」と聞いているので、選挙結果を答える必要があります。先生が「小選挙区制の選挙を考えてみましょう」と言っているので、選ばれるのは最も多く票を獲得した1人であることがわかっていることが必要です。
②原発を増やしたくない人が多数派であること書いている。(1点)
⇒次に、「民意を反映していない」と考えられる点を指摘します。選挙の結果を見ると、原発を増やしたいと考えているAさんを1位にしている人が40人いるのに対して、Aさんを3位にしている、つまり原発を増やしたくない人が55人います。この結果から、原発を増やしたいと考えている人よりも、原発を増やしたくないと考えている人の方が多いということがわかります。

【部分点を与えた解答例】

Aさんを3位にしている人が55人もいるのに、1位がAさんに決まってしまう

- ⇒Aさんを3位とした人が多数派であることを指摘できてはいますが、1位のAさんしか「当選しない」ということが指摘できていませんでした。

【得点を与えなかった解答例】

死票が多くなってしまふ

- ⇒最初の先生の会話の中で、小選挙区制の選挙は、「落選者に投票した少数者の意見が反映されていないという点で民意を反映していない」という観点から死票の問題点をあげていて、それ以外にも民意を反映していないと言える場合があると指摘しています。そのため、ただ単に死票が多くなってしまふことをあげるだけでは「それ以外にも民意を反映していない」と言える場合がある、という点について答えていることになりません。